

ユニバーサルデザインに関する総合的な 計画に基づき学校施設のバリアフリー化を推進

静岡県

● 静岡県の概要

- 面積 7,780km²
- 人口 3,792,468人（2006現在）
- 世帯数 1,355,088世帯
- 人口密度 488人/km²
- 人口増加率 0.997%（2006現在）
- 学校数（県立） 高等学校105校、特別支援学校27校
- 担当課
 - ・ 静岡県県民部企画監（ユニバーサルデザイン担当）
TEL (054) 221-2228 FAX (054) 221-2827
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/ud/>
 - ・ 静岡県教育委員会財務課
TEL (054) 221-3235 FAX (054) 221-3571



1 計画の特徴

- ① ユニバーサルデザインを県政の基本方針に位置付け
- ② 5つの主要施策の提示と推進体制の整備
- ③ 12分野130項目の施策と数値目標の設定
- ④ 行動計画の策定における住民参加
- ⑤ 年度毎の検証と外部評価の実施

① ユニバーサルデザインを県政の基本方針に位置付け

ユニバーサルデザイン（以下UDという）を県政の推進の基本的な考え方に位置付け、その行動計画となる「しずおかUD行動計画2010」を策定している。

② 5つの主要施策の提示と推進体制の整備

「すべての人が自由に移動し、いきいきと生活できる“しずおか”の実現」を基本目標に、5つの主要施策を提示している。（5つの主要施策は、考え方の普及、まちづくり、ものづくり、情報提供、社会づくり。）

また、実施体制として、県庁内にUD推進本部（本部長：知事）を設置するとともに、専任のUD室を設置している。（平成19年度からUD推進本部の運営事務は、県民部管理局企画監（ユニバーサルデザイン担当）が行っている。）

③ 12分野130項目の施策と数値目標の設定

5つの主要施策に沿って、UD意識の普及、人材育成、建物対策、交通システム対策、製品開発、サービス提供、社会参加等の分野毎に幅広い政策を網羅しており、12分野130項目の指標を定め、数値目標と実施区分（推進又は誘導）を明示している。

④ 行動計画の策定における住民参加

行動計画の策定に当たっては、県内外の有識者で構成する検討委員会を設置している。また、タウンミーティングやシンポジウムを開催して、県民の意見を聴取し、計画に反映している。

⑤ 年度毎の検証と外部評価の実施

毎年度、UD関連事業の担当課が事業の実施状況を検証し評価している。これらを取りまとめで、

外部有識者も参加する委員会で審議し、結果を次年度以降の施策に反映させるシステムが構築されている。

しずおかユニバーサルデザイン推進体制



2 計画の背景

● 県政の基本理念

静岡県政の基本理念は、「富国徳」の魅力ある地域づくり。その手段として「知の創造」と「協働」による「創知協働」というスローガンを掲げ、様々な政策を推進している。その中でUDを県政推進の基本的な考え方に位置付け、その実行に努めている。

● 行動計画策定までの経緯

静岡県では、平成11年4月に県庁内にUD推進本部を設置するとともに、UD推進委員会等の推進体制を構築している。平成12年3月には「しずおかUD行動計画（平成12年～16年の5年計画）」を制定し、これに基づき、シンポジウムの開催、UDアイデア大賞の選定、市民向けUD公開講座の開設、UD事例集やUD対応マニュアルの作成など様々な施策を実施している。施設面においても、公共施設、道路、公園、商業施設等のUD対策を進めてきた。

3 計画の概要

骨子

- 計画名 「しずおかユニバーサルデザイン行動計画2010」
- 策定者 静岡県
- 策定期間 平成17年2月
- 対象施設 道路、公園、河川、公共施設、住宅、商店街等。この他に、普及活動、人材育成、製品開発、公的サービスや情報提供等を含む。
- 整備項目 12分野130項目
- 計画期間 平成17年～平成22年（6年間）

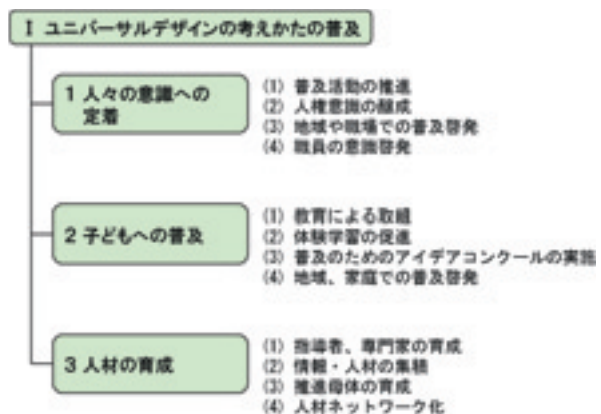
計画の内容

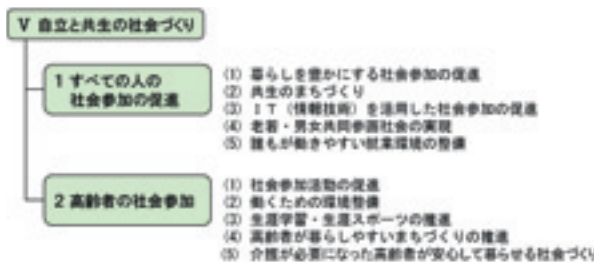
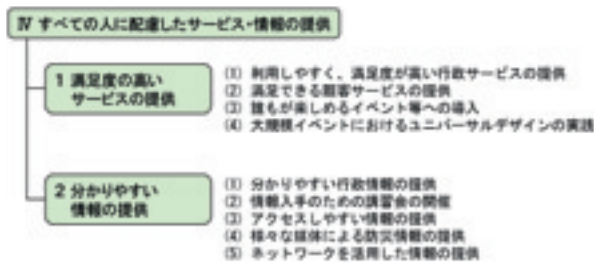
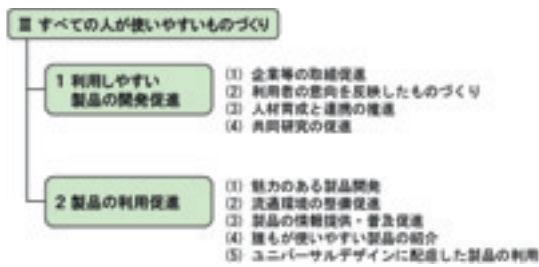
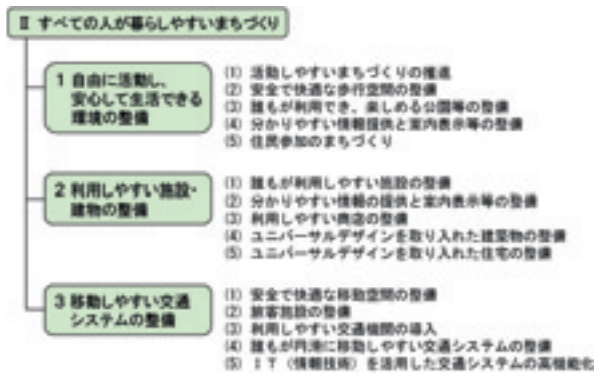
5つの主要施策（下記）と、12分野130項目にわたる具体的施策と数値目標を提示。

- ・UDの考え方の普及
- ・すべての人が暮らしやすいまちづくり
- ・すべての人が使いやすいものづくり
- ・すべての人に配慮したサービス情報の提供
- ・自立と共生の社会づくり

主要推進施策

施策体系





○トイレのドアの開閉に赤外線センサーを活用している。



○文字情報システムを取り入れている。



(静岡県立大平台高等学校)

4 「しずおかUD行動計画2010」における学校関係施策計画の背景

●県立学校のUD整備計画

(いずれも現状値：平成15年度 →

目標値：平成22年度)

- スロープ、視覚障害者誘導用ブロック、階段手すり、車いす使用者用駐車場 73% → 100%
- 車いす使用者用トイレ 46% → 60%
- 自動ドア 20% → 40%
- エレベーターの整備 21校 → 26校

●学校施設における優先順位

- 原則として校舎改築計画とセットで実施
- 加えて障害のある生徒の入学時に整備

●学校施設のUD整備の基本方針

- エレベーターは、校舎改築に際し1校1基を整備。(高校3階以上、特別支援学校2階以上)
- 車いす使用者用トイレ及び自動ドアは、校舎

改築又は耐震補強工事に際し1校1か所を整備。

- 上記は障害がある生徒が入学した場合及び在校生に障害が発生した場合も実施。
- スロープ、階段手すり、視覚障害者誘導用ブロック、車いす使用者用駐車場は耐震補強に際し全校に整備。

●学校施設のUD整備状況

- 計画策定前（平成15年）と現状（平成18年）の比較

スロープ	94校	→	106校
階段手すり	92校	→	104校
車いす使用者用駐車場	87校	→	99校
視覚障害者誘導用ブロック	79校	→	91校
車いす使用者用トイレ	54校	→	60校
自動ドア	23校	→	30校
エレベーター	20校	→	22校

○外部にも多機能トイレを設置



○玄関に近い位置に身障者用駐車場を設置



(静岡県立大平台高等学校)

5 検討組織

行動計画の策定に当たり、県内外の有識者16名で構成する「しずおかUD行動計画策定検討委員会」を設置している。(委員長は(福)静岡県社会福祉協議会会長。)

●しずおかユニバーサルデザイン

行動計画策定検討委員会

特定非営利活動法人障害者サポートセンター理事

東京都立大学教授

(福)静岡県社会福祉協議会会長

特定非営利活動法人福祉のまちづくり

市民ネットワーク事務局長

(財)共用品推進機構理事長

建築設計事務所専務取締役

静岡文化芸術大学教授

静岡県百貨店協会会長

研究所副代表

前静岡県労働者福祉協議会会長

弁護士

東海大学教授

静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合女性部会会長

一般企業代表取締役

静岡県社会就労センター協議会会長

●今後の課題と研究会コメント

■ 大平台高校は、高等学校の建物でどこまでバリアフリー化整備すべきか、また、どのような工夫が求められるかを示した、静岡県の学校施設におけるユニバーサルデザインモデルである。

■ ユニバーサルデザイン先進自治体である静岡県は、ユニバーサルデザインの行動計画に基づく全事業を各数値目標に沿って評価・検証している。数値目標に達していない場合はその対策についても自己評価が行われ、今後の対応について検討を行うなど、実効性のある仕組みとなっている。

